

# SDGs を見据えた持続可能な区政経営をめざして

SDGs を推進し、未来をはぐくむ緑と  
文化のかがやくまち“板橋”を実現します。



板橋区

# 目 次

## 1 SDGs（持続可能な開発目標）とは

### 世界の共通目標

SDGs に見える世界 ～未来をあきらめない～	1
SDGs は新しいアプローチ	1
世界を変えるための 17 のゴール	2

### 日本政府の取組

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部	3
SDGs アクションプラン	3

## 2 板橋区の施策と SDGs の親和性

### これまでの区の施策

総合計画から見る SDGs の取組	4
事業で見る SDGs の取組	4
（1）みどりと文化の交流	4
（2）緑のカーテン	5
（3）マレーシアとの国際交流	5
（4）いたばし子ども夢つむぐプロジェクト	5
（5）いたばし働きがいのある会社賞	6
（6）板橋区版 A I P の推進	6
（7）魅力あるまちづくりの推進	6

国連気候変動枠組条約第 24 回締約国会議（COP24）への参加	7
ジャパンパビリオンでのセッション	7
日本経済新聞社産業地域研究所「SDGs 先進度調査」における評価	8
評価された主な施策について	8

## 3 持続可能な区政経営を実現するために

### SDGs を区政の基本に

「東京で一番住みたくなるまち」に向けて	9
未来を創る 3 つの基本目標と 17 のゴール	9
SDGs を課題解決のツールに	9

## 世界共通の目標



UN Photo/Cia Pak

## Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)



UN Photo/Cia Pak

国連本部ビル壁面のプロジェクション  
マッピング

## SDGs で見える世界 ～未来をあきらめない～

今、地球は岐路に立たされていると言えます。経済発展や技術開発によって、私たちは物質的に豊かで便利な生活を享受することができるようになりました。一方で、この便利な生活は、生物が生存し続けるための基盤となる地球環境を悪化させ、世界中で深刻な影響が生じています。

こうした危機感を出発点に、2015年9月の国連サミットで193加盟国の全会一致で採択されたのが、2030年を年限とする、持続可能な開発目標を定めた「SDGs」です。採択から約4年が経過し、世界ではSDGsの視点で現実を見つめ、変革に向けたチャレンジが始まっており、この目標を達成するための幅広い取組みが期待されています。

## SDGsは新しいアプローチ

SDGsが「新しいアプローチ」とされるのは、個々の課題の解決策を探るプロセスで、実はほかの課題とつながっていることに気づくことができる点と言われています。そして、その気づきを起点にこれまで接点のなかった人たちが出会い、対話を通じて一緒に解決策を導くことが可能になります。

SDGsは「誰一人取り残さない」という基本理念を掲げています。私たち一人ひとりにも、課題解決のためにできることは数多くあります。2030年の世界を暮らしやすく、人々が大切にされる世界にするために、SDGsについて理解を深め、身近な社会課題に関心を持つことが目標達成への大きな一歩となります。

## 世界を変えるための 17 のゴール



SDGs は、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。

- 1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 2 飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を達成し、持続可能な農業を推進する
- 3 健康な生活を保障し、全ての年齢層の全ての人々の良い暮らしを推進する
- 4 全ての人々に、包摂的で公平な、良質な教育を保証し、生涯にわたる教育機会を促進する
- 5 ジェンダーの平等を達成し、全ての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 6 全ての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
- 7 全ての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 8 持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する
- 9 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
- 10 国内および国家間の格差を是正する
- 11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする
- 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
- 14 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
- 15 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
- 16 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、全ての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
- 17 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

## 日本政府の取組



SDGs 推進本部

JAPAN SDGs Action Platform  
(外務省 HP)

## 持続可能な開発目標（SDGs）推進本部

2015年にSDGsが採択された後、その実施に向け政府はまず国内の基盤整備に取り組みました。2016年5月に総理大臣を本部長、官房長官、外務大臣を副本部長とし、全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置し、国内実施と国際協力の両面で率先して取り組む体制を整えました。さらにこの本部の下で、行政、民間セクター、NGO・NPO、有識者、国際機関、各種団体等を含む幅広いステークホルダーによって構成される「SDGs推進円卓会議」における対話を経て、同年12月に今後の日本の取組の指針となる「SDGs実施指針」を決定しました。

## SDGsアクションプラン

「SDGs実施指針」の取り組みを具体化するために、2017年12月に「SDGsアクションプラン2018」を策定し、その後、半年ごとに内容を拡充しています。政府は、豊かで活力ある「誰一人取り残さない」社会を実現するため、日本ならではの「SDGsモデル」を構築し、国際社会に展開することをめざしており、その中核となる3本柱として、企業の取り組みの支援（SDGsと連動する「Society5.0」の推進）、地域の取り組みの支援（SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり）、次世代・女性の支援（SDGsの担い手として次世代・女性のエンパワメント）を掲げています。



ピコ太郎氏を「SDGs推進大使」に委嘱

### これまでの区の施策



板橋区基本計画 2025

### 総合計画から見る SDGs の取組

板橋区は平成 25 年に区政の持続的な発展をめざした「未来創造プラン」を策定し、環境に優しい最先端都市、区の優位性が発揮できる産業文化都市、未来につながる子育て・教育が進む都市として「魅力創造発信都市」「安心安全環境都市」という「環境」「経済」「社会」のバランスを意識した都市像を指向し、施策展開を図ってきました。

さらに平成 28 年には、ターゲットを明確にした上で、東京 2020 大会の開催や団塊世代が後期高齢を迎える 2025 年に向け、政策分野や組織を超えた横断的な取り組みにより「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちをめざす「板橋区基本計画 2025」を策定しました。

これまでの軌跡を辿れば、区の施策と SDGs は親和性が高く、SDGs が求めている「環境」「経済」「社会」をバランスよく発展させることに積極的に取組んできたと言えます。

### 事業で見る SDGs の取組

#### (1) みどりと文化の交流

友好都市である日光市から寄贈をされた「板橋区の森」における「環境」学習や森林ボランティア活動、また日光産材を学校改築などに活用することで地域の「経済」に貢献しています。



日光産材を活用した板橋第一小学校

### (2) 緑のカーテン



板橋区から全国に広がった緑のカーテン

ゴーヤなどのつる性の植物を窓の外に茂らせた植物のカーテンにより、夏の強い日差しや外からの熱を和らげ、室温の上昇を抑える効果がある緑のカーテンが全国に広まりを見せ、「環境」活動が地域の結びつきを生み、地球温暖化対策の推進につながる「社会」活動となっています。

### (3) マレーシアとの国際交流



中学生のマレーシア国派遣事業

保幼小中一貫環境教育プログラムの実践や板橋清掃工場の余熱を利用した熱帯環境植物館による「環境」の普及・啓発活動、マレーシアへの東京二十三区清掃一部事務組合が保有する技術を活用した清掃事業の国際協力や、人的交流から区立中学生派遣事業に発展した国際「社会」との交流事業を推進しています。

### (4) いたばし子ども夢つむぐプロジェクト



妊婦・出産ナビゲーション事業

すべての子どもたちが夢と希望をもって成長する板橋の実現をめざし、プロジェクトを推進しています。また、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援(いたばし版ネウボラ)を行うなど、家庭を支援することで子どもたちの育ちを支えています。



いたばし働きがいのある会社賞 表彰式

### (5) いたばし働きがいのある会社賞

経済活動を司る「ヒト・モノ・カネ」のうち、一番大事な「ヒト」に焦点を充て「いたばし働きがいのある会社賞」を創設し、働く人が元気な会社、人を育てる意欲のある会社、そのような仕組みを持つ会社と、志ある経営者を顕彰することで持続可能な経営を支援しています。



支え合い会議（第2層協議体）

### (6) 板橋区版A I Pの推進

2025年問題の先にある2040年問題では、団塊の世代の子どもたちが高齢者となり、最も高齢人口が多くなります。こうした時代の到来に向けて、医療・介護の連携はもちろん、地域のつながりを強化することで、元気な高齢者が働きがいをもって、医療・介護に貢献できる体制づくりを意識しながら「板橋区版A I P」を推進しています。



高島平地域のまちづくりの推進

### (7) 魅力あるまちづくりの推進

区が持つ魅力を高め、持続的な発展を可能とする都市をめざして、駅や商店街などを中心に快適で魅力あるまちづくりを総合的に推進しています。また、高島平地域ではアーバンデザインセンターを設置し、民・学・公の連携により地域課題の解消に向けた先進的な研究や活動を行っています。

### 国連気候変動枠組条約第 24 回締約国会議（COP24）への参加



COP24 メイン会場

これまでの区が取組が、国（環境省）が推進する「地域循環共生圏」という概念を具現化する事例であると評価されるとともに、環境省及びイクレイ日本より、平成 30 年 12 月に、ポーランド・カトヴィツェで開催された「国連気候変動枠組条約第 24 回締約国会議（COP24）」におけるジャパンパビリオンでのセッションに参加依頼を受けました。



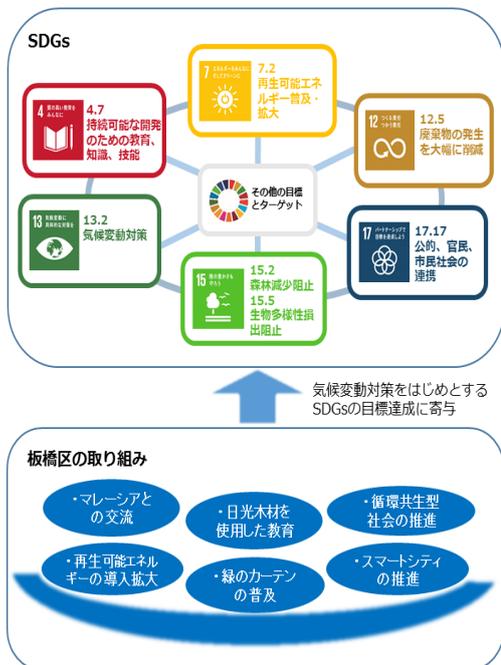
ジャパンパビリオンで区を取組を紹介

COP24 への参加は、世界の環境に対する潮流や先進的な取組を学ぶことで、温室効果ガス削減などの国際的な課題を区を取組へとローカライズし、国際理解と交流の促進によって、様々な主体との協働の可能性を広げるものとなりました。

### ジャパンパビリオンでのセッション

脱炭素化に向かう都市と地域の代表が集まり、持続可能な都市と地域の実現に向けた SDGs のローカライゼーションの流れと、それを具現化させるために必要とされる「環境」「経済」「社会」の総合的施策のあり方として示された地域循環共生圏を議論することで、パリ協定の実現に向けた都市と地域の役割の可能性に関して理解を深めました。

また、環境先進都市として SDGs を見据えた区を取組と成果、「東京で一番住みたくなるまち」の実現をめざした、まちづくりの発展と展望を紹介し、区の持つ魅力を世界に向けてアピールすることができました。



### 日本経済新聞社産業地域研究所「SDGs 先進度調査」における評価

総合順位	自治体名(都道府県)
1位	京都市(京都府)
2位	北九州市(福岡県)
3位	宇都宮市(栃木県)
4位	豊田市(愛知県)
5位	岡山市(岡山県)
6位	相模原市(神奈川県)
7位	さいたま市(埼玉県)
8位	板橋区(東京都)
9位	堺市(大阪府)
10位	名古屋市(愛知県)

総合ランキング ベスト10

#### 板橋区の方針ランキング

環境分野 全国 53 位

経済分野 全国 11 位

社会分野 全国 6 位

日本経済新聞社産業地域研究所が全国 815 市区を対象に「SDGs (持続可能な開発目標) 先進度調査」を実施し、全国市区の SDGs 先進度に関して「環境」「経済」「社会」の3分野ごとに調査し、自治体の総合力を検証しました。調査の結果、ランキングにおいて板橋区が全国総合8位(東京都で1位)の評価を得ました。調査結果の詳細は「日経グローバル」355号(平成31年1月7日発行)などで発表されました。

#### 評価された主な施策について

##### 【環境分野】

- ・脱炭素社会の実現をめざした「地球温暖化対策実行計画」の策定
- ・フードドライブをはじめ講習会などによる食品ロス対策事業の実施
- ・「緑のカーテン」「省エネの普及・啓発」「環境教育プログラム」等による地球温暖化対策事業の推進

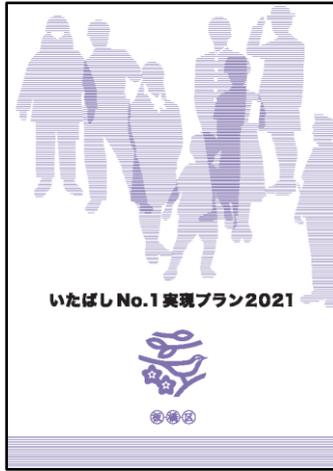
##### 【経済分野】

- ・中小企業者の生産性及び経営力の向上を図る先端設備等設備投資支援事業
- ・いたばし働きがいのある会社賞による持続可能な経営支援

##### 【社会分野】

- ・魅力にあふれ、健康にらせる持続可能なまちいたばしの実現に向けたスマートシティ推進方針の策定
- ・子ども達が夢と希望を持って成長できる社会をめざす「いたばし子ども夢つむぐプロジェクト」の推進
- ・女性の社会参画及び経済的自立の支援に向けた、女性の再就職支援や育児中女性支援プログラムの実施

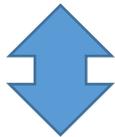
#### SDGs を区政の基本に



いたばしNo.1 実現プラン 2021



未来を創る3つの基本目標と17のゴール



#### 「東京で一番住みたくなるまち」に向けて

平成 31 年 4 月に始動した「いたばしNo.1 実現プラン 2021」は、本計画期間中に開催される、東京 2020 大会やその後のレガシーを見据えるとともに、SDGs の推進に留意しながら、板橋区が自治体として活力にあふれ、持続的に発展することをめざして策定しました。

これまでの取組の成果が花開き、誇りと魅力が実感できるよう、「実施計画」「経営革新計画」「人材育成・活用計画」三位一体の力で、区が秘める未来の価値を引き出し、光輝く未来に近づけていきます。

#### 未来を創る3つの基本目標と17のゴール

「いたばしNo.1 実現プラン 2021」の策定とあわせて、実施計画事業と SDGs の関係性を明らかにしました。今後は組織横断的な施策展開を導き、リソースを磨き上げることで、新たな価値を創出していきます。区は未来に向けて SDGs を推進していくことで、これからも「環境」「経済」「社会」への責任をしっかりと果たしていきます。

#### SDGs を課題解決のツールに

複雑化する社会において、明確な答えのある課題は少なく、従来の手法では解決が困難な課題が多くなっています。こうした時代だからこそ、SDGs の枠組みやバックキャストの考え方をういて整理していくことで、目の前の課題解決に終始することのない、未来志向の持続可能な区政経営につながっていきます。